

＝昨年度の成果＝

昨年度は、NEC 学生バードソン 2009 にご協力いただきありがとうございました！
おかげさまで、財団法人日本野鳥の会「カンムリウミスズメ保護プロジェクト」に 1,033,412 円の募金を贈呈することができました。

この募金は、同プロジェクトでカンムリウミスズメの調査活動を行うために必要な船のチャーター代や、諸経費として役立てていただきました。

この調査活動の結果は本ページの後半部に記載しました！
私達が募金をしたことで、カンムリウミスズメのどのようなことが分かったのか、是非確認してください！

今年度も実行委員会メンバー一同、『カンムリウミスズメ』という存在をより多くの方々に知っていただくため、全力で活動に取り組んでいます！

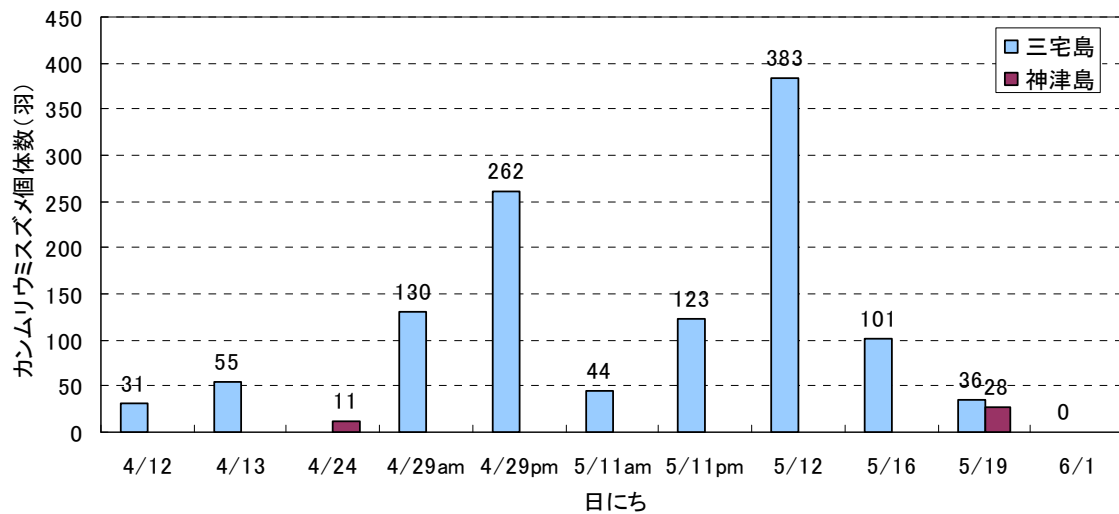
昨年度の学生バードソンに参加して下さった方も、この HP をご覧になってカンムリウミスズメに興味を抱いて下さった方も、是非今年度へのご協力よろしくお願ひします。

(財) 日本野鳥の会・カンムリウミスズメ保護プロジェクト

～2009 年度調査結果概要～

(日本野鳥の会の調査報告を元に、学生バードソン実行委員会が要約します。)

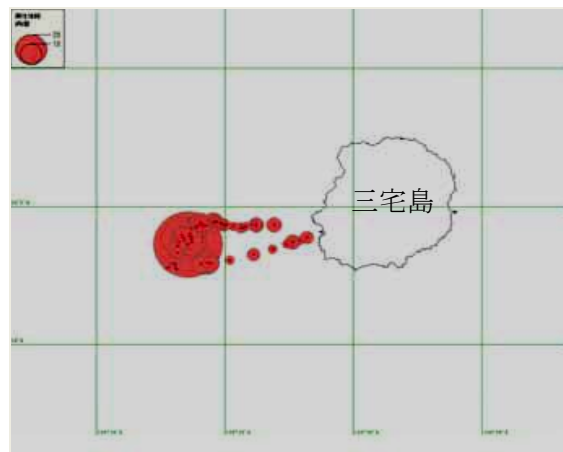
調査は伊豆諸島の三宅島と神津島の近海を主なフィールドとして、カンムリウミスズメの繁殖シーズンと思われる 4 月～6 月の間に計 11 回行われました。
各回の調査結果は以下のグラフをご覧ください。



グラフ：三宅島と神津島周辺海域におけるカンムリウミスズメの個体数調査(2009 年度版)

グラフから読み取れるように、5月12日の三宅島海域における調査では、“383羽”のカンムリウミスズメが記録されました！この数は、日本野鳥の会が三宅島周辺海域で組織的な調査を始めた1995年以来最多となる発見数とのことです。

また、三宅島周辺海域においての調査では、産卵初期～巣立ち時期までの期間をカバーすることが出来ました。このデータから、繁殖中期に周辺海域で個体数が増える可能性が推測されました。



図：5月12日の調査で発見したカンムリウミスズメの位置マップ
(赤い丸の直径が大きい箇所ほど、多くの個体が確認できたことを意味しています)

次に、繁殖地の上陸調査の結果です。

1.三宅島(繁殖地:三本岳)

日にち	時間	営巣数		
		抱卵中	放棄卵	合計
2009年4月30日	09:35～10:47	9	3	12

2.神津島(繁殖地:祇苗島)

日にち	時間	営巣数		
		抱卵中	放棄卵	合計
2009年4月23日	14:30～17:30	2	0	2
2009年5月19日	8:50～9:10	0	0	0

3.八丈島(繁殖地:小池根)

日にち	時間	営巣数		
		抱卵中	放棄卵	合計
2009年6月20日	10:39～13:44	0	0	0

この結果から、三宅島と神津島の両方で営巣をしていることが分かりました。三宅島での繁殖確認は、実に15年ぶりのことで、伊豆諸島での繁殖が危ぶまれていた中、久々に伊豆諸島で繁殖確認されました！

最後に、今回の調査により伊豆諸島におけるカンムリウミスズメの利用海域が明らかにされました。下図をご覧ください。

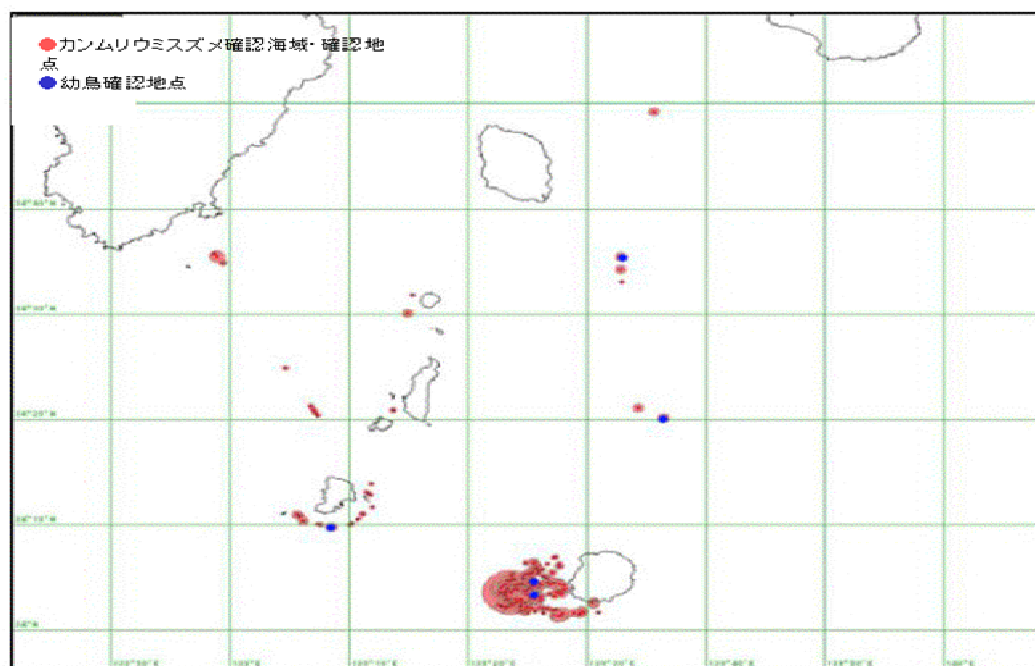


図 カンムリウミスズメ目撃海域

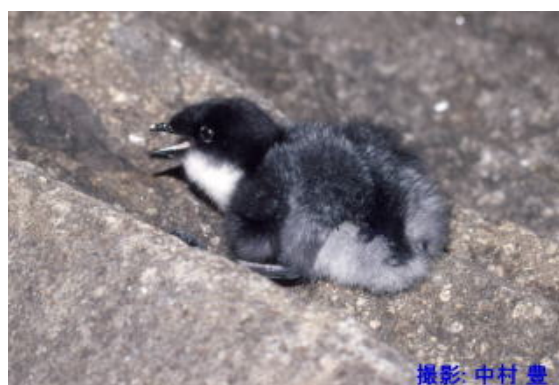
このデータから、カンムリウミスズメの分布は既に分かっている繁殖地（三宅島と神津島）の周辺海域およびその北東海域であることが分かりました。そして、繁殖地周辺海域を集中的に利用している可能性が高いと考えられるそうです。

また、三宅島海域と神津島海域の両方で幼鳥を連れた家族を確認することができました。三宅島海域では15年ぶりとのこと。営巣確認とあわせて、三宅島、神津島の周辺でカンムリウミスズメが確実に繁殖していることを明らかにできました。

以上が昨年度の調査で明らかにされたカンムリウミスズメの生態です。

今年度も「カンムリウミスズメ保護プロジェクト」によって、カンムリウミスズメの生態がより解明されることに期待しましょう。

**本プロジェクトを推進させる為にも、
私達【学生バードソン2010】の活動へのご理解とご協力、よろしくお願いします！**



このページで使用しているグラフ等の資料は、財団法人日本野鳥の会より許可を得て使用しております。無断での転載を一切禁じます。